

平成18年度

主要施策の成果

平成19年10月

大田区

平成18年度 主要施策の成果

平成18年度の主な事業と決算額は、次のとおりです。

事業名	内 容	決算額(円)
健康・福祉・子育て分野		
1 健康づくり		
1	「健康大田21」の策定・普及 「健康大田21(実践編三訂版)」を作成し、地域行政センター及び18特別出張所等において区民に配布しました。「健康大田21」説明会を年間で54回開催し、参加者数は2,913名、「受動喫煙の防止義務」説明会は年間24回開催し、参加者数は603名、健康づくりグループ及び一般区民を対象とした「健康づくり講演会」を2回開催しました。また、18年度初めての取り組みとしておおたフェスタにてアンケート調査を実施し、999名の方に「健康大田21」パンフレットを配布し、普及活動に努めました。	1,272,840
2	食品衛生教育 食中毒多発期の注意喚起や食品問題発生時の情報を食品等事業者及び区民に提供し、食品衛生知識の普及啓発を図るため衛生講習会を110回実施しました。また、消費者、食品等事業者、行政の三者による意見交換会を2回実施し、情報の共有化及び相互理解を促進しました。	2,029,782
2 高齢者福祉		
1	福祉オンブズマン制度の推進 区民の福祉サービスに関する苦情等を公正かつ中立な立場で迅速に処理するため、福祉オンブズマン(4人)が、直接苦情等の相談を受け、25件の苦情申立てを受理し、17年からの調査継続分を含め、22件の調査を終了しました。また、ポスター1,935枚を掲出・配布しました。	6,340,831
2	福祉サービス第三者評価事業 第三者評価制度の普及定着を図り、事業者のサービスの質の向上に向けた取り組みを支援するため、受審の勧奨を行い、民間事業者21件、特別養護老人ホーム等区立民営事業者11件が第三者評価を実施しました。実施に対し補助金を交付しました。	7,843,347
3	福祉サービス従事者の育成 在宅福祉サービスを支える人材の育成と資質の向上を図るため、訪問介護員養成講座2級を2回開催し、48人が修了しました。また、やさしい介護講座6回、レベルアップ介護講座4回、認知症ケア講座4回、健康料理講座1回を開催し、437人が受講しました。また、介護支援専門員指導研修を全体研修(4回)、地域行政センターごとの研修(延23回)を実施しました。	4,983,000
4	認知症高齢者グループホームの整備 東矢口二丁目の旧職員東矢口寮跡地を、公募により決定した社会福祉法人に貸与し、施設整備費の一部を補助し、2ユニット18人の認知症高齢者グループホームと認知症対応型通所介護の併設施設を整備しました。	73,499,960
5	特別養護老人ホームの整備 東糀谷六丁目に特別養護老人ホームを新設する社会福祉法人に、施設整備費の一部を補助し、施設整備促進を図りました。160床の特別養護老人ホームが平成19年4月1日に開設しました。	311,100,000
6	老人保健施設の整備 東糀谷六丁目及び中央八丁目に老人保健施設を新設する社会福祉法人に、施設整備費の一部を補助し、施設整備促進を図りました。東糀谷六丁目に100床の老人保健施設が平成19年4月1日に開設しました。中央八丁目に建設中の施設は工事出来高4%について、施設整備費補助を行いました。	179,600,000

事業名	内 容	決算額(円)
3 障害者福祉		
1 福祉サービス第三者評価事業	各福祉サービスの内容や質を公平な第三者機関により評価し、比較可能な情報として区民に提供するため、区立民営障害者施設8か所、区直営施設4施設5サービスで第三者評価を実施しました。区立民営施設に対して補助金を交付しました。	6,913,775
2 身体障害者療護施設等の整備	東糞谷六丁目に社会福祉法人が建設する身体障害者療護施設、身体障害者デイサービスセンターに係る施設整備費の一部を補助し、障害者施設の整備促進を図りました。40名定員の入所施設及び20名定員のデイサービスセンターが、平成19年4月1日に開設しました。	204,124,000
3 障害者地域自立生活支援センター事業	障害のある人が地域で自立した生活ができるように、ピアカウンセリングや情報提供を行う総合窓口である障害者地域自立生活支援センターの運営業務を委託しました。18年度の相談件数は96件でした。	2,830,211
4 自立支援給付に係る利用者負担軽減	障害福祉サービス利用者の費用負担(1割)を軽減するため、区では独自事業として、平成18年10月から、施設通所サービス利用者に対して月額5千円を上限とした補助を行いました(18年度10,396,119円)。また、国や都も、世帯の所得に応じて、負担上限の設定、給付・補助等を実施しました。	92,552,153
5 知的障害者通所授産施設の整備	知的障害者の自立に必要な訓練と作業のため、大田福祉作業所の改築を行い、平成18年11月に本体工事が竣工し、平成19年2月から新施設での運営を開始しました(定員75人)。また、萩中二丁目に通所授産施設を建設し、平成19年1月に竣工、4月に開設しました(定員70人)。	730,225,349
4 子どもの福祉		
1 認証保育所の整備助成	低年齢児の待機児解消や多様な保育ニーズへの対応など保育サービスの充実を図るため、認証保育所の開設及び運営を支援しました。新規に開所した蒲田四丁目(定員30名)及び羽田空港三丁目(定員60名、平成19年4月1日開所)の認証保育所に対し、開設準備経費を補助しました。また、区内19施設及び大田区民が利用している区外27施設に対し運営費を補助しました。	697,570,440
2 病後児保育の拡充	病気回復期やケガ等の理由により保育園等に通えない児童を保育するための、病後児保育室4施設(定員16名)と運営委託契約を結びました。また、西糞谷一丁目の病後児保育室(定員4名)開設にあたり、開設準備経費を補助しました。	31,457,500
3 児童福祉サービス第三者評価事業	保育所のサービスの内容や質について第三者機関による評価を受け、サービス選択の情報として区民に提供するため、区立保育園13園、認証保育所10か所で第三者評価を受けました。認証保育所には、実施に対し補助金を交付しました。	9,075,140
4 区立雪谷保育園の改築	待機児(主に低年齢児)解消及び施設の老朽化と耐震性の問題の解決を図るため、近隣の公園を含む区有地を利用し、雪谷特別出張所との併設施設として改築する工事に着手しました。	128,010,692
5 (仮称)千束第二保育園の新築	区有地を有効活用し千束・雪谷地区の待機児の解消を図るため、南千束三丁目に保育園施設の建築を進め、8月に工事が竣工し、9月1日、社会福祉法人の設置、運営による洗足池保育園(定員45名)が開園しました。	99,786,079
6 子ども家庭支援センター機能の拡充	子ども家庭支援センター機能の拡充を図るため、大森北四丁目に新設する(仮称)子ども家庭支援センター・大森の工事に着手しました。また、要保護児童の早期発見や保護のためのネットワークをさらに整備し、要保護児童対策地域協議会を設置しました。育児支援家庭訪問を18件実施し、ファミリーサポート提供会員の新規登録が91件ありました。	210,285,215

	事業名	内 容	決算額(円)
7	フレンドリーおおた事業	児童館学童保育室の定員超過の解消及び緩和のため、区立小学校施設等を活用して行う学童保育事業として、9校でフレンドリーおおた事業を実施しました。また、新たに旧蓮沼小学校内にフレンドリー蓮沼を整備し、4月に開設しました。	101,850,809
5 福祉のまちづくり			
1	福祉のまちづくり整備事業	「すべてのひとにやさしいまちづくり」を進めていくために、区民との協働で、糺谷駅、大岡山駅、下丸子駅、池上駅の各周辺地区や改築、改修を行う公共施設の点検活動を実施しました。また、大森駅、蒲田駅周辺等で、歩道の段差解消工事や点字ブロックの設置等を行いました。	70,368,399
産業・地域・文化分野			
1 地域産業の育成・支援			
1	創業支援事業	旧羽田旭小学校を活用したBICあさひ(創業支援施設)は、新たなオンライン企業の創出や新分野に挑戦する企業の活動の場を提供しています。平成18年度は、新規入居企業30社、成長退出企業12社、会社設立6社ありました。	34,474,443
2	産業クラスター推進事業	産業集積から新たな技術革新を創出するため、大学で行っている研究テーマを区内企業に紹介するセミナーを32回開催しました。また、5研究会にクラスター研究会の創設支援、1研究会にクラスター研究会活動サポートを行いました。 クラスターとは、地域の産官学が効果的な連携関係にある状態をいいます。	1,907,500
3	新製品・新技術開発支援事業	企業の開発意欲の醸成と競争力の強化を図るため、16社に新製品・新技術開発経費の一部を助成しました。	31,026,000
4	産業支援施設の整備	基盤的技術産業の操業環境と、創業・新分野進出企業の研究開発環境等の整備を行うため、大森南四丁目の産業支援施設の整備に着工しました。平成18年度の工事進捗率は21.4%です。また、旧北蒲小学校を活用し、大学等の教育・研究機関と共同研究・共同開発を行っている企業を誘致し、産学連携による研究開発活動を促進する施設を整備しました。	553,790,638
5	産業連携支援施設管理運営事業	新産業新技術を実用化する研究開発の促進と起業家の育成を行い、地域産業の活性化及び区内中小企業の技術力向上を図るため、新産業創造支援施設(旧南六郷土木事務所)を4月に開設、産学連携支援施設(旧北蒲小学校)を8月に開設し、入居企業を支援しました。	8,860,933
6	中小企業融資制度(あっせん融資)	中小企業の融資相談を5,654件受け付けました。また、中小企業が希望する金融機関に低利な融資をあっせんすることで、円滑な資金調達を支援しました。融資実行時には、中小企業者が負担する信用保証料等を補助しました。融資実行実績は1,586件でした。	484,282,566
7	ビジネスサポート事業	経営改善や創業・新事業展開などに対する支援事業として、各分野の専門知識を持つ支援協力者(ビジネスサポーター)に15人が新規登録し、66人となりました。また、区内企業や事業所への支援協力者の派遣を174回、経営改善セミナーの開催を1回行いました。	2,159,800
8	産業再生・刷新支援	区内中小企業者の再生・廃業に関する相談を各分野の専門家が行い、産業の再生・活性化を支援しました。年6件の相談を受けました。	72,000
9	新産業・新市場開拓事業	区内製造業に対する、大学等研究機関からの試作加工の受注促進、大手企業からの加工依頼など、新たな取引の機会の拡大を支援しました。研究開発マッチングシステムのデータベースへの大学・研究機関等へのID発行が1,555件ありました。また、受注相談は63件ありました。	1,638,746

	事業名	内 容	決算額(円)
10	国内見本市への出展支援	個別出展企業が新規顧客・取引を獲得するよう支援(8回)を行うとともに、大田ブランドをPRしながら、区内企業への受発注あっせんを推進しました。	17,047,896
11	海外見本市への出展支援	中国・タイへ事業展開を希望する区内企業の市場開拓を支援するため、3か所の海外展示会に共同出展しました。	8,053,475
12	海外取引相談事業	中国・タイを中心に区内企業の発注開拓を支援するため、輸出入等相談、翻訳、セミナー開催、中国市場の勉強会等を実施しました。タイで、大田区企業の製造拠点となるOtaTechnoParkが開設され、受注案件が飛躍的に増えました。	9,277,386
13	商店街活性化推進事業	近隣の消費者に親しまれ、活力ある商店街の形成を目指すため、商店会が実施した66件のイベント事業等に対し、事業費の一部を補助しました。	32,333,221
14	商店街再生支援事業	商店街振興のために、5商店街でコンサルタントを延べ28回派遣し、出前型講演会等を開催して商店街の課題・解決法等を検討し、商店街のニーズに合った活性化策を実施しました。	1,380,000
2 地域活動の支援			
1	特別出張所の改築	窓口サービスの向上、地域振興の充実及び老朽化した庁舎の改善を図るため、雪谷保育園との併設施設として、雪谷特別出張所の改築工事に着手しました。	65,665,335
2	大田西地域行政センターの新築	雪が谷大塚駅周辺地区の整備の一環として、大田西地域行政センターを移転・新築するため、雪谷大塚町の水道局用地を購入し、実施設計、地盤調査、土壌汚染調査を実施し、工事に着手しました。	1,189,143,480
3	自治会・町会会館の整備助成	地域住民の福祉の向上と自主的活動を支援するため、既存の会館の修繕を行った自治会・町会3件に経費の一部を助成しました。	13,700,000
4	旧北蒲小学校、旧蓮沼小学校の施設改修	地域交流やスポーツ活動・生涯学習など区民の自主的な活動の場として、区民利用施設の改修工事を実施しました。	196,303,817
3 国際化の推進			
1	アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進	区民親善訪問団(18名・随行2名)が、9月8日から16日まで姉妹都市セーラム市を訪れ、セーラム市長を表敬訪問、ピーボディ・エセックス博物館訪問、ホームステイや小学校訪問などの市民交流を行い相互理解と友好を深めました。	2,067,283
2	中国北京市朝陽区との交流の推進	大田区の青少年(9人・引率2人)を、8月24日から30日まで朝陽区に派遣し、朝陽区人民政府表敬訪問、ホームステイや高等学校訪問など朝陽区の青少年との交流を通して、日中両国の相互理解と友好を深めました。	1,289,700
3	平和都市宣言記念事業の推進	大田区の平和都市宣言を記念し、平和の尊さを語り継ぎ区民連帯意識の醸成の場とするため、地域の区民、警察等各関係機関と連携を図り、平和に向けて「花火の祭典」を実施しました。来場者数は12万2千人となりました。	40,028,308
4 学校教育の充実			
1	習熟度別指導の充実	理解や習熟の程度に応じたきめ細かな習熟度別指導を行うため、小学校の算数(3年生以上)、中学校の数学・英語の授業において、小学校29校・中学校15校の都加配教員のいないクラスに、習熟度別特別講師を配置しました。	60,675,000

	事業名	内 容	決算額(円)
2	学校図書整備	児童生徒の国語力の向上と、豊かな人間性を育むため、昨年度に引き続き、全ての小中学校で学校図書室の図書の充実を図りました。18年度は、読み物図書のほか、調べ学習用図書にも重点を置き、小学校137,100冊(1校平均2,325冊)、中学校63,500冊(1校平均2,270冊)の図書を整備しました。	397,336,346
3	ものづくり学習の充実	「ものづくりのまち大田」の特色を生かし、区立小・中学校において、区内民間工場等に従事する技術者・技能者の協力を得て、ものづくり体験活動・講演会を実施しました。「ものづくり学習フォーラム」を開催し、その結果を発表しました。	1,513,320
4	文化・伝統の継承を図る教育の実施	和楽器の演奏や民謡指導などを通して、日本の伝統文化について理解を深めるため、社会科・音楽科・特別活動・総合学習等の教育課程の中で、指導者の協力により、体験的な学習を行いました。また、学習成果発表の場として、伝統音楽演奏会を開催しました。	2,760,693
5	中学生の海外派遣	区立中学校2年生56人を姉妹都市セーラム市に派遣し、ホームステイ体験やセーラム市民との交流を行いました。帰国後は、交流の体験を各学校で生かし、文化祭等で報告を行うなど国際理解教育に役立てました。	20,220,560
6	外国人による英語指導	外国人や英語に直接ふれることにより、外国の文化や英語に対する興味・関心や意欲を育て、将来国際人として活躍できる素地を培うため、全小中学校に外国人英語指導助手(ALT)を派遣し、小学校5、6年生が年間18回、中学校全学年が年間15回のALTの指導を受けました。	46,050,081
7	教員研修の充実	教員のモラル・指導力の向上を図るために、経験年次毎の初任者・中堅教員・管理職・管理職候補者研修等、また、専門研修として生活指導主任・進路指導・指導法・人権教育研修等を実施しました。	7,454,320
8	屋内運動場の改築	良好な教育環境を確保し、地域での活用に資するため、梅田小学校の屋内運動場を改築しました。	495,910,295
9	教育環境の整備	安全で衛生的な学校施設の環境を確保するため、屋内運動場の床改修(1校)・トイレの改修(18校)等の施設整備を行いました。	371,290,013
10	小中学校への空調機の設置	良好な学習環境を整備するために、小学校48校、中学校20校の普通教室、小学校53校、中学校26校の特別教室に空調機を設置しました。	3,017,705,754
5 生涯学習の充実			
1	図書館の改築・移転	図書館事業の安定化のため、賃借していた池上図書館の土地を購入しました。	916,405,200
2	総合体育館の建設	現体育館が老朽化したため、生涯スポーツの振興の場に相応しい総合体育館としての整備を実現するために、現況調査などを行い素案を作成して区民に公開し意見募集を行い、それを踏まえ基本計画を策定しました。	4,809,000
6 地域文化の振興			
1	OTAふれあいフェスタの開催	ふるさと大田の「区民まつり」として区民が集い、楽しむ機会を提供し、区民の連帯意識や「交流の輪」を広げるため、平和島一帯でOTAふれあいフェスタを開催しました。来場者数は23万1千人でした。	33,500,000
2	(仮称)大田区立海苔資料館の建設	大森ふるさとの浜辺公園の整備にあわせ、旧平和島土木事務所に郷土博物館収蔵の国指定重要文化財・海苔漁業資料を移動・活用して、展示や体験学習が出来る海苔資料館を建設するため、建物実施設計と地元説明会を実施しました。	8,898,750

	事業名	内 容	決算額(円)
都市基盤・環境・防災分野			
1 環境保全			
1	住宅騒音防止 工事の助成	羽田空港周辺の航空機騒音障害を軽減するため、防音室に設置した空気調和機器が10年以上の使用で機能低下の場合に交換し、静穏な生活環境の維持につとめました。空気調和機器機能回復工事(29台)・空気調和機器再更新工事(484台)に助成しました。	111,213,900
2 資源循環			
1	ごみ減量啓発活 動の充実	ごみの減量やリサイクルの普及啓発を行うため、区立小・中学校の生徒を対象に「ごみ減量キャンペーン」ポスターの募集を行い、本庁舎北ロビー、蒲田駅上グリーンロードで展示を行いました。	226,897
2	資源行政回収 の推進	ごみ集積所を活用して、資源物の回収品目を拡大し、効率的でより区民が参加しやすい資源の回収を行いました。	667,615,213
3 都市構造			
1	大森駅周辺地 区の整備	(仮称)大森北一丁目開発に際し、地域と連携して中心核にふさわしいにぎわいと活力のあるまちづくりをめざし、拠点となる公共施設の整備や商店街の活性化を進めるための事業スキームの調査を行い、事業実施計画を検討しました。	11,255,634
2	大岡山駅周辺 地区の整備	大田区画街路第1号線の道路用地買収として、土地開発公社所有地、468.52㎡について買戻しを行いました。また、大岡山駅前広場部・街路部の電線類地中化工事、公衆便所撤去工事等が完了しました。	428,436,949
3	京急関連駅周 辺のまちづくり 事業	京急蒲田駅西口周辺地区、糎谷駅周辺地区、雑色駅周辺地区の3地区で、京浜急行線高架化に伴う駅周辺のまちづくりを達成するため、市街地再開発準備組合やまちづくり研究会等の活動を支援しました。京急蒲田駅西口周辺地区では、特に都心共同住宅供給事業補助を実施するとともに、土地開発公社所有地(蒲田四丁目16番2)を、再開発事業用地として買い戻しました。	839,758,187
4	京急線の連続 立体交差事業 の推進	環状8号線仮立体の早期完成のため、仮高架橋構築工事や、京急蒲田駅構内において下り線仮線切換工事を行いました。また、区民の方々と協働して駅舎の色彩等検討委員会を開催しました。	2,547,811,652
5	東西鉄道「蒲蒲 線」の整備促進 事業	「蒲蒲線整備計画素案」をもとに、国や都など関係機関に整備促進の働きかけを行いました。区内の蒲蒲線整備効果についての調査を実施しました。また、「整備促進区民協議会(全体会)」を開催し、ケーブルテレビにおいて、会の模様が放映されました。	4,100,994
6	京急線の連続 立体交差事業 に係る街路事業	関連駅周辺の側道、アクセス道路及び駅前広場を整備するため、区画街路第3号、補助328号、放射19号線(東口駅広)の街路用地取得に係る用地の公社買い戻し(1,486.59㎡)、物件調査・土地鑑定委託等を実施しました。用地取得率は53%となりました。	2,947,556,435
7	都市計画道路 の整備	補助44号線の街路整備工事(141.6m)、電線類地中化に伴う、引込管路及び連系管路の整備(317.6m)を行いました。また、道路用地の土地開発公社からの買い戻し(1件・19.73㎡)、物件調査(4件)を行いました。	153,439,396
8	港湾局移管道 路の整備	臨海部道路(京浜島・東海・城南島)を安全で快適な道路として整備するため、東京都港湾局からの受託事業として、城南島三丁目2番～3番の道路改修工事3,606㎡を行いました。	101,292,017

事業名	内 容	決算額(円)
9 都市計画公園の整備	公園用地として、(仮称)東糀谷四丁目公園(27,945.22㎡)、田園調布せせらぎ公園(第4期5,789.00㎡)、鶉の木松山公園(第5期1,239.60㎡)を購入しました。鶉の木松山公園は、埋蔵文化財6号横穴墓造形保存工事を実施し、3月に開園しました。 本羽田公園の拡張部分と田園調布せせらぎ公園の整備工事を実施しました。また、洗足小池公園は、公園整備改修工事等の実施設計を行いました。	5,381,732,380
10 下水道未整備地域の解消	東京都下水道局から工事を受託し、大森西五丁目、南六郷一丁目付近枝線工事(延長105.0m)の整備を行いました。	16,065,000
11 自転車対策事業	下丸子駅前自転車駐車場(有料制、収容台数:自転車135台)、蓮沼自転車駐車場(登録制、収容台数:自転車150台、原付30台、自動二輪20台)の2か所を新設しました。民営の洗足池駅駐輪場整備に対し助成を行いました。また、放置自転車等の防止指導や放置自転車の撤去、駅前放置自転車クリーンキャンペーンを実施しました。	544,187,979
4 魅力ある都市空間		
1 借上型高齢者住宅建設補助	民間事業者が建設する賃貸住宅を、区が20年間借り上げ、住宅に困窮している高齢者用に提供するため、大森南二丁目区営シルバーピア前の浦(31戸)の工事に着工しました。	52,701,000
2 区営住宅の建設	東京都の大森西四丁目敷地(旧勤労者福祉会館跡地)を区営住宅用地として土地を取得し、老朽化した中央四丁目アパートの代替地として建替えを行うため、地盤調査、基本設計を実施しました。	260,107,876
3 桜のプロムナードの整備	「水とみどりのネットワーク」の一部として、洗足池から洗足流れ、馬込桜並木・内川にいたる道路を散策路として整備しています。平成18年度は、大森西二丁目16番～22番先(190m)の整備工事を行いました。	43,352,256
4 大森ふるさとの浜辺整備	内川河口にかつての大森の海岸をイメージした親水公園を整備し、身近に憩い集える海辺を創出するため、公園整備を行いました。公園造成工事、砂浜及び釣磯造成工事、連絡橋等工事が竣工し、平成19年4月に大森ふるさとの浜辺公園が開園しました。	863,094,250
5 武蔵野の路整備	臨海部・多摩川の自然、歴史、文化などにふれながら散策やサイクリングのできる遊歩道として、六郷コースの南六郷三丁目21番先(延長76m)の整備を行いました。	22,677,900
5 都市の安全		
1 橋梁の耐震整備事業	災害に強いまちづくりを進めるため、呑川に架かる八幡橋の架替整備の現地調査と予備設計、宝来橋の耐震補強等整備工事の実施設計を行いました。また、旭橋は耐震補強等整備工事の実施設計及び工事を行いました。 跨線人道橋については永久橋、雪見橋、花見橋、月見橋の落橋防止工事の実施設計を行いました。 さらに、区の管理する橋梁の中で、優先的に耐震性能の向上を図る必要のある45橋梁について、耐震調査を実施しました。	52,064,250
2 雨水管の整備	田園調布地域の雨水分流地区で、下水道局から雨水管枝線工事を受託し、田園調布二丁目付近枝線(延長925m)、田園調布一丁目付近枝線(延長342.7m)の整備工事を行いました。	426,447,000
3 災害弱者対策の推進	自治会・町会に組織されている防災市民組織で、災害弱者(災害時要援護者)の支援体制づくりを進めており、既に結成された68組織に対する助成、新規に結成された7組織に対する助成及び資器材の支給を行いました。	2,983,918

	事業名	内 容	決算額(円)
4	こども緊急連絡システムの運用	携帯電話等のメールにより、不審者情報等を正確かつ迅速に保護者に伝える「こども緊急連絡システム」を活用し、公私立の小中学校、幼稚園、保育園、児童館の保護者を対象に適時不審者情報等76件をメール配信しました。	23,738,750
5	デジタル地域防災無線の整備	災害時の情報連絡網の強化・拡大を図るために、アナログ移動系無線からデジタル地域防災無線設備への移行を進め、設置施設の現地調査、学校施設工事、本庁舎、池上会館工事、無線機設備を行いました。統制局1局、中継局1局、移動局404局を設置し、従来2倍以上に通信網を拡充することができました。また、延べ9回の操作説明会を行いました。	311,909,844
6 情報化の推進			
1	情報化基盤整備	効率的なシステムの運用を図るため、システムの連携機能の拡大や運用改善を図りました。統合基盤系システムでは、職員共用ファイルサーバの運用を開始し、個人情報等のデータを移行しました。財務会計システムでは、決算系システム、文書・財務システム連携機能を開発しました。文書管理システムでは、庁内申請・報告様式電子化、本庁舎会議室・公用車電子予約を稼動し、事務の効率化を図りました。	311,919,454
区政の改革			
1 経営改革			
1	外部監査制度	公認会計士と包括外部監査契約を締結し「高齢者施設の管理運営」について監査を実施しました。業務改善や経営改革に資する結果が報告されました。	10,552,657
2 区民協働			
1	大田区ホームページの充実	大田区ホームページに、CMS(コンテンツマネジメントシステム)を導入し、誰もが使いやすく、また迅速な区政情報の提供が行なえるようにサイト全体を再構築しました。新しいホームページを10月に公開しました。	20,457,465
2	ケーブルテレビによる情報提供	ケーブルテレビを通して、まちの様子や区政情報の提供を行い、親しみのある開かれた行政運営をめざしました。広報番組「シティーニュースおおた」を年間24回(月2回内容更新)提供しました。	19,656,000